

令和7年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月28日（火）14時30分から15時40分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 森下 薫、山下 太一郎、福島 亜弥、清水 恭子、森下 裕子、正久 幸廣（15時～）
- 4 欠席委員 酒井 裕也、山下 晃二
- 5 オブザーバー 勝又 真希（気田幼稚園園長）、田中 謙詞（春野支所）
- 6 学 校 小澤 真喜子（校長）、野嶋 孝弘（教頭）、田代 萌（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 田代 萌（CS ディレクター）

- 9 議長の選出 司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、森下薫会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1） 学校の現在の状況について
- （2） コミュニティ・スクール関連行事について
- （3） 前期学校評価結果と今後の取組
- （4） 後期学校評価アンケートの項目確認
- （5） 連絡事項

11 会議記録

司会の野嶋孝弘から、委員の参加者数が既定の数（8人中5人）に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

（1） 学校の現在の状況について

前回の協議会の会議録より『自分がいじめたと認識してない子がいるのではないかな。どうやっていじめをしたと認識させるか。「なんでいじめたの？」と聞くだけではなく、「いじめはどうして悪いのか」という理論を指導してはいけないのか。指導してもよいのではないかな。』という意見がでた。

それに対して以下の流れでいじめの対応をしていると教頭から説明があった。

- ① いじめ聞き取り用紙を作成し、教師が児童に威圧的にならないように全教師が共通理解をして用紙をもとに聞き取りをする。
- ② 指導を行う中で児童の自己判断・自己決定を大事にしている。「自分ではいじめたつもりがなかったが、相手にとってはそれが苦しかった」ということをしっかり理解してもらう。
- ③ そのあと、児童自身がどうしたらいいかを自己決定して、「謝る」という意見が出たら教師立会いの下、謝る場を設け納得してもらう。
- ④ その日のうちに保護者に連絡をして、「自分から謝罪ができて素晴らしかった」という伝え方をし、自己決定・自己判断できたことが伝わるようにしている。

(2) コミュニティ・スクール関連行事について

「春野を好きになってもらう」「春野の文化を伝える」の目標を達成できるような新たな行事はないか、現在の行事の進め方について意見を求めた。

●今年度から新しい人に「田植え・稲刈り」を依頼したが、「脱穀」は機械の利用やスクールバスの利用で日程があわせにくい。「脱穀」は学校から歩いて行ける距離にある会長宅にてお願いできないだろうか。

(教頭)

→学校の都合で動かないとできないのが厳しい。歩いて行ける距離で昨年度までやっていた経験があるので協議を重ねたうえで対応したいと思う。(会長)

「春野を好きになってもらう」「春野の文化を伝える」の目標を達成できるような新たな行事はないか。

(教頭)

●平木地区でわらび採りができないだろうか。(会長、山下太一郎委員)

→対象が1・2年生なので候補地が歩いていけるか、許可が出るか、検討していきたい。(教頭)

→市のほうから許可が取れるか確認する。(田中)

●「狩猟について」実際狩猟を行っている山下太一郎委員が授業できないか。(教頭)

→専門用語が出るので、少し難しい内容になる。4～6年生対象が望ましい。(山下太一郎委員)

(3) 前期学校評価結果と今後の取組

校長から「令和7年度 浜松市立気田小学校前期学校評価」の資料に基づいて説明があった。

前期学校評価について委員に意見を求めた。

●6番の言葉遣いについて、メディアからの影響で乱れているのではないかな。悪い言葉が無意識で使っていないか。読書の習慣を身に付け、本をしっかりと読んでいただいて言葉について学んで正しい日本語を学んでほしい。(森下会長)

●17番、18番、19番について教師が「そう思う」が100%ではなく75%なのはなぜか。「だいたいそう思う」は意識が低いのではないかな。(正久委員)

→学校活動として徹底して取り組んでいるが、自己評価なので、結果として小さな問題が出てしまった場合、自分の中で足りなかったのではないかなと思って「大体そう思う」と回答したのだと思う。教育を行う姿勢としては100%で取り組んでいる。(教頭)

→全力で取り組んだが振り返った時、自己評価の結果が「少し足りないところがあったかもしれない」という気持ちがあって「大体そう思う」という現れなのではないかな。低学年が100%「そう思う」が多い中、高学年はばらつきがあるように年齢が上がれば葛藤も出る。人間である以上自分に100%をつけるのは少し勇気がいる。(森下委員)

→やったかやっていないかという問いなら、結果はどうであれ自信をもって「そう思う」であるべき。(正久委員)

→問いの意味の受け取り方にばらつきがあったかもしれない。改めて教師間で確認を取るようにする。(教頭)

●こういうアンケートがあると、母として普段子供が行っていることををしっかり褒められているか、日々の自分の母としてできているか振り返られる良いきっかけになると思いました。(清水委員)

（４）後期学校評価アンケート項目の確認

● 6 番の「わたしは、相手のことを考えたやさしい言葉づかいを心がけている」という問いが、心がけていないという結果になっている。悪い言葉遣いを使ってしまったかどうかとして受け取っているのではないか。（森下委員）

→来年度の実施に向けてわかりやすく変更していきたい。（教頭）

（５）連絡事項

教頭から、今後の学校運営協議会の開催日時について連絡があった。

第３回 令和７年１２月１６日（火）１４時３０分～１５時３０分

第４回 令和７年 ２月２７日（金）１４時３０分～１５時３０分